

ONOSOKKI Technical Seminar 2022

小野測器 技術セミナー 2022

小野測器講演

①音質評価解析による電気自動車の車室内NV評価

低炭素社会実現のため、クルマはHEV、BEVに代表される電動化が進んでいます。内燃機関からモーターに変わることにより車室内の静粛化が進む一方、これまで気にならなかった小さな音が聞こえ易くなるなど、新たな課題も生じます。本セミナーでは音質評価解析を用いた電気自動車の車室内音評価の一例を紹介いたします。

②感性と物理をつなぐ音のプラットフォーム

誰でも気軽に音データの収録、解析、管理、聴感実験ができるWebアプリケーションを紹介いたします。操作音やサイン音のサウンドデザインや、騒音の把握、サウンドスケープの評価など、様々な音をより価値あるものにするためのプラットフォームです。

③燃料のカーボンニュートラル化に対応する燃料流量計測

カーボンニュートラルの実現に向けて、内燃機関に使用される燃料は従来の化石燃料から合成燃料やバイオ燃料などへシフトしていきます。このような新燃料に対応し、内燃機関の更なる高効率化に貢献する燃料流量計測への取り組みを紹介いたします。

④お客様とともに進化する新しいFAMSのご紹介

FAMSシリーズは30年以上にわたり自動車開発の計測を支えてきました。自動車開発の現場では大きな変革期を迎え、計測内容や働き方も大きく変化しています。FAMSは、開発現場ニーズに応えるため進化します。「くるまをはかる、答えがわかる、未来につながる」をコンセプトに開発中の新しいFAMSを紹介いたします。

⑤レーザ面内速度計を用いた非接触ねじり振動計測

レーザを用いた非接触計測により、供試体を加工せずに、回転体各部の速度変動や固有周波数を高応答で捉えることができます。さらに、2台の速度計を使用することで2点間の速度差異からねじり挙動を解析することが可能です。本セミナーではレーザ面内速度計を使った、ドライブトレインのねじり挙動解析事例を紹介いたします。

⑥エンジンモデルを活用したトランスミッションの開発プロセス改善のご提案

実測とシミュレーションを連携させた統合的な試験システムの開発を進めています。今回は、トランスミッション開発初期段階での検証ループをモデル活用によってシームレスにつなげ、開発効率向上を実現するプロセスを提案します。

	5/25(水)	5/26(木)	5/27(金)
13:00			⑤
13:30	廣澤 邦一 様	チョン・カー・ウィー 様	
14:00	①	③	古賀俊行 様
14:30	②	④	⑥
15:00			
15:30	桑野園子 様	宇野 重雄 様	水嶋 教文 様
16:00			

会 場 Webex Meetings(ライブ) 申込者に専用URLをご案内いたします。

定 員 100名

ご用意いただくもの イヤホン、マイク(質疑応答の際に必要です。)

<お問い合わせ>

株式会社小野測器 グローバルサポートグループ セミナー担当

TEL(045)476-9711

E-mail: seminar_support@onosokki.co.jp

ONOSOKKI